

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	終末期対応の開始時期の判断	全員(本人・家族・主治医・職員)が方針を共有する	1.日頃から家族に対して看取り指針を説明して、意思を確認しておく。2.対象となる利用者に対して全員(家族・看護師・介護職)が状況を把握して主治医の指示を仰ぐ	12ヶ月
2	36	異常や急変への気づき	早期対応で重度化防止	1.研修への参加(医療知識と処方・喀痰吸引等)。2.一人ひとりの状態を把握して、全職員が情報を共有する。	6ヶ月
3	37	日勤帯・夜勤帯を問わず突然起こる災害への対応	一人ひとりが冷静に対処できる	1.全職員が火災・風水害に対するマニュアルを理解する。2.日勤帯・夜勤帯を通じての訓練 3.自治会との協働で協力体制の確立(連絡網等の作成)	12ヶ月
4	6	夜間、緊急やむを得ない場合の対応	身体拘束をしないケア	1.ヒヤリ・ハットの活用で起こり得る事象を把握して、全職員が周知して家族に情報提供する。2.それぞれの事象に対しての対応方をマニュアル化している。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。